



# NEWS LETTER vol. 19



## KPIについて

### 今年度の事務局体制について



今年度は川勝健志准教授がサバティカルのため1年間KPIを離れ、新しく公共政策学部福祉社会学科に着任された田所祐史准教授がメンバーに加わりました。体制は下記の通りです。今年度もどうぞよろしくお願ひ致します。

青山 公三（センター長）、小沢 修司（副学長・公共政策学部教授）、菱木 智一（同准教授）、田所 祐史（同准教授）、杉岡 秀紀（同講師）、村山 紘子（研究員）

## 連続自治体特別企画セミナー (KPIセミナーに名称変更を検討中) 年間計画

第1回 7月23日(木)

今年度も原則木曜日開催を予定しております。

詳細が決まり次第、ニュースレターやHP、Facebookなどでご連絡いたします。

## 後援等について

KPIでは、共催や後援、協賛、協力というかたちで、地方自治体や企業、NPOと連携しながらイベント等を開催しています。

ご希望の方はKPIホームページの「諸手続き」にある、「後援等申請書」にご記入の上、メール又はFAXにてご連絡ください。

京都府立大学  
京都政策研究センター  
〒606-8522

京都市左京区下鴨半木町1-5

Tel & Fax : 075-703-5319  
mail : [kpiinfo@kpu.ac.jp](mailto:kpiinfo@kpu.ac.jp)

セミナーのご案内やニュースレターなどをメールマガジンで配信しています。ご希望の方は、上記メールアドレスまでご連絡ください。

## センター長青山よりご挨拶

本年3月に定年を迎え、京都府立大学を退職いたしました。大学在職中は多くの皆様方からのご指導、ご鞭撻、また多大なご協力を頂き、大変有難うございました。おかげさまでKPIも各方面から少しずつ認知されるようになり、活動も広がりを持たせることができるようになってまいりました。この場をお借りして御礼申し上げます。なお、私は退職後も京都政策研究センターの活動充実のために尽力すべしとのお話があり、引き続きセンター長として勤めさせて頂くことになりました。これまでに増して皆様の多大なご指導、ご鞭撻を何卒よろしくお願い申し上げます。



## ブックレットNo.3を出版しました！



この度、京都府府民生活部府民力推進課との協働研究「プロボノに関する実態調査」の成果のひとつとして、『地域力再生とプロボノ—行政におけるプロボノ活用の最前線』を刊行いたしました。京都府立大学生協や書店、インターネットでお買い求め頂けます。ぜひ一度手に取ってご覧ください。

※KPIの連続自治体特別企画セミナー時にも、受付にて見本をご覧頂けます。

### \*\*\*\* 目次 \*\*\*\*

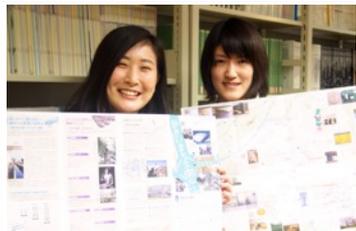
- 第1章 スロボノとは何か（執筆者 杉岡秀紀）
- 第2章 我が国におけるスロボノ（執筆者 杉岡秀紀）
- 第3章 米国におけるスロボノ（執筆者 青山公三）
- 第4章 京都府における「地域力再生プロジェクト」とスロボノ（執筆者 鈴木康久、山本伶奈）

※スロボノとは、社会的・公共的な目的のために、自らの職業を通じて培ったスキルや知識を提供するボランティアです。



## パンフレットを更新しました！

KPIのパンフレットを作成後3年が経ちましたので、パンフレットを更新しました。ご入用の際は、KPI事務局までご連絡ください。



(左) 久御山町ガイドマップの表紙  
 (中央) 上記ガイドマップ作成に協力頂いた院生の2人  
 (右) 3/17に開催された久多の夢を語る会の様子

久御山町受託研究

『巨きいまち久御山-くみやまてくてく クロスマップ』が完成！

町制施行60周年を迎えた久御山町からの委託を受け、大学院生とデザイナーとともに住民の皆さんへのヒアリングやワークショップ、まち歩きを行い、これらを通じて見つけた町の宝物や特徴を盛り込んだ久御山町の新しいガイドマップが完成しました。地図面の裏には町の歴史や神社、難読地名についての院生が考えた説明文が掲載されています。

このガイドマップは町の施設や京都駅ビルの京都総合観光案内所などで配布していますので、是非お手に取ってご覧ください！

なお、まち歩きの様子や完成したマップは洛南タイムスや城南新報、京都新聞に掲載していただきました。



報告

京都市左京区受託研究

「久多の夢を語る会」を開催しました！

KPIでは、受託研究を通じて3年間、京都市左京区北部にある「久多地域」に関わらせて頂きました。そして、去る3月17日にKPIに関わる最後の「久多の夢を語る会」を開催しました。

最初の1年間は、KPIの会議室で久多の状況に関する情報共有やアンケート調査を、区役所や社会福祉協議会、地域包括支援センターの専門職の方々と共に実施してきましたが、2年目からは久多地域にお邪魔をし、「久多の夢を語る会」を2年間、計12回実施してきました。語る会が始まって1年間は、情報や課題の共有・抽出にたくさんの時間が割られました。しかしながら、徐々に前向きな意見も増えていき、住民の方達が自ら「追っ払い隊」を結成したり、「空き家対策チーム」の活動を活性化されてきました。そして、この春には久多地域に4組10名（子どもさん4名！）が移住され、久多はどんどんにぎやかになっています。

3年間続けてきた久多に関する活動は、当初久多と京都市街地を結ぶバスが運行停止になったことに端を発していますが、交通課題についてはボランティア乗合タクシー「久多支え合い・助け合いバス やまびこ号」が平成25年9月から平成27年3月末までに計19回に及ぶ運行実験を重ねており、多くの方に活用頂きだぶと定着しました。

この3月をもってKPIは久多との組織としての直接的な関わりは終了しましたが、3年間を通じて久多の中で自治会でもお講でもない、新しい「人が集まる場」を作ることができ、様々な課題について前向きな話しをすることができました。「久多の夢を語る会」は今後も随時開催される予定ですし、上述のやまびこ号も運行実験が続きます。盛り上がりを見せている久多地域が、ますます元気になっていくことを願ってやみません。

報告

KPIのFacebookについて

Facebookでセミナー報告・ニュースレターが見られるようになりました！

KPIではホームページとともに、Facebookからも随時情報発信をしています。これまで、ホームページにセミナーの報告やニュースレターを掲載してきましたが、Facebookからも直接これらをご覧頂けるようになりました。Facebookのトップページ上部にございます「セミナー報告」、「写真」のタブからこれまでのセミナーやニュースレターがまとめてご覧頂けます。（「写真」ページをクリック後、「アルバム」ページからご覧ください。

なお、同じ場所にある「スケジュール」タブからはKPIのイベント情報をご覧頂けます。ぜひご利用ください。

お知らせ

KPIリレーコラム

今回は、この4月に公共政策学部福祉社会学科に着任され、KPIにもご参加頂けることになった田所先生が登場です！！

「今こそ公民館！」



▲地域の議事堂、地域の茶の間、地域の学び舎－公民館

京都府立大学  
 公共政策学部福祉社会学科准教授

田所 祐史

はじめまして。4月に着任しました田所です。これまで千葉県野田市の公民館で、社会教育主事として働いてきました。

公民館は、敗戦から半年も経たない1946年1月に、文部省社会教育局の寺中作雄がその構想を世に問い、各地に設けられた社会教育機関です。

彼は、戦後日本は「放棄した武力に代えて平和と文化を以て立」つべきで、「中央集権の弊が反省されて地方分権の必要が力説されている。文化が生活に浸透し、教育が社会と連携し、政治が国民と直結し、産業が郷土に根を張る様な活々として美しい民主国家、平和国家が建設されることをただ一場の夢としない為にわれわれはこの際本当に智囊を絞って再建を議せねばならない。それには国会議事堂が東京に唯一つあるのみでは足りない。議事堂は全国各町村に広く分散せられて然るべき」と、公民館の役割を説きました（『公民館の建設』1946年）。

現在、公民館は困難な課題を抱えています。その役割は、現代の社会で一層大きくなっているのではないのでしょうか。